

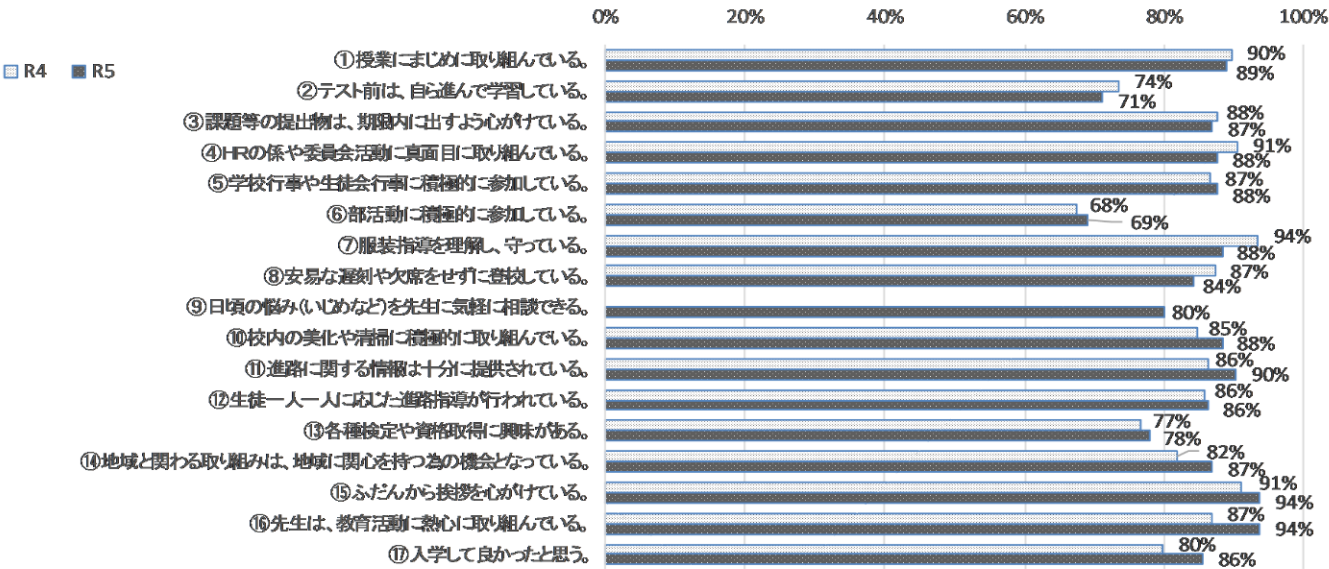
令和5年度 学校評価アンケート集計結果(令和4年度との比較)

令和5年11月実施

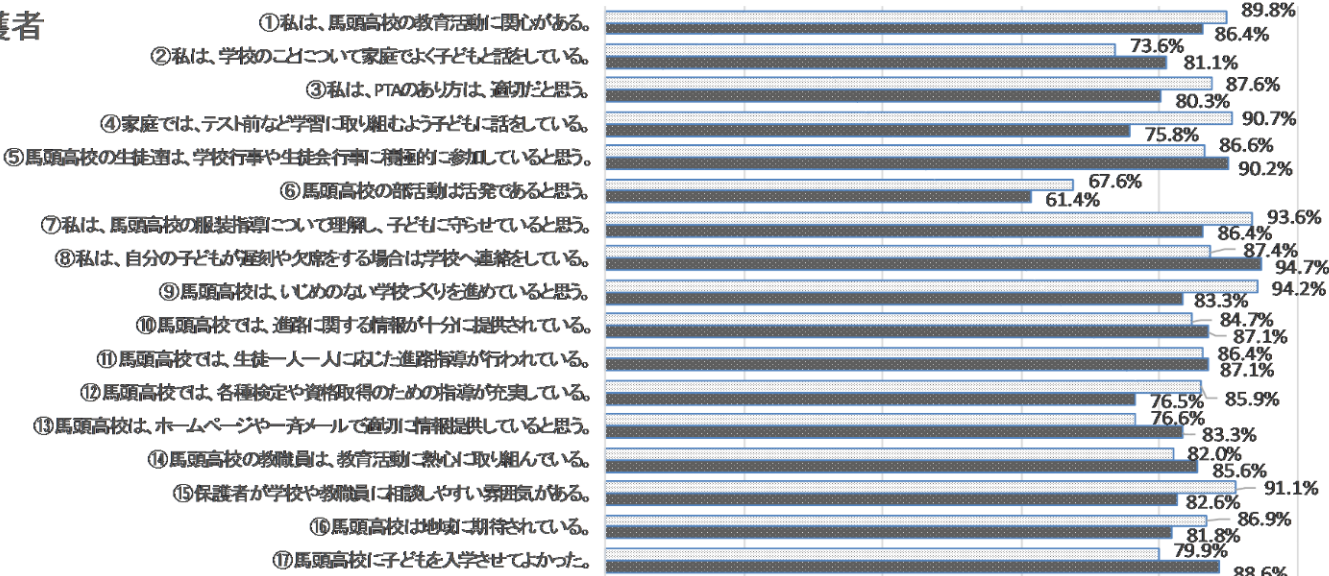
	生徒	保護者
回答者数	146	132
回答率	95%	86%

○生徒・保護者を対象に無記名のアンケートを実施しました。
○各質問項目は下の4段階で評価。
(1: と思う、2: ややと思う 3: すややそう思わない、4: 思わない)

生徒



保護者



アンケート結果と今後の課題

【学習について】 定期試験前の自主学習に積極的に取り組めない生徒が一定数いるようです(生徒②)。また、家庭での会話を学校の話は多くあがっています(保護者②)。これらのことから、学校・家庭の緊密な連携を活かし、今後、どのように生徒の学習意欲を喚起するかが課題といえます。

【部活動について】 生徒・保護者ともに肯定的な意見はかなり少なくなっています(生徒・保護者⑥)。生徒数が減少していることから、現在、部活動の精選が進んでいます。しかし、部活動数が活性化の指標とは限りません。これからも生徒のニーズを取り入れながら、本校らしい部活動とその在り方について検討してきたいと思います。

【進路指導について】 進路情報提供や個別指導等は生徒・保護者ともに満足度が高くなっています(生徒⑪⑫、保護者⑩⑪)。生徒のニーズに合った進路指導が行えていると思われます。一方で、生徒の各種検定・資格取得への関心がもう一步となっています(生徒⑬)。各種検定・資格取得は進路選択に役立つと思われるので、生徒の意欲を喚起する具体策が必要だと思います。

【生徒相談(いじめ関連を含む)について】 教職員と生徒の関係性は良好のようです(生徒⑨、保護者⑮)。本校では、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置が進み、通級による指導も始動していることなど個々に応じた指導体制が充実しつつあります。本校の「いじめのない学校づくり」に関して保護者からの支持を得ていると考えられます(保護者⑨)。

【全体について】 教職員の教育活動への熱心さを高く評価されています(生徒⑯、保護者⑭)。また、生徒・保護者の満足度も昨年度より向上しています(生徒⑰、保護者⑰)。今後も一つ一つの教育活動を丁寧に行い、家庭との連携を密に取りつつ、馬頭高校の生徒であることに誇りを持ってもらえるよう取り組んでいきます。